

鳥取市(中国ブロック)

【2期 計画期間 25年 4月～30年 3月】

- ・江戸期：16世紀に鳥取城が築城され、池田光政が城下町を造営
- ・明治期：明治40年の皇太子行啓、明治41年山陰本線鳥取駅開業を経て、都市基盤整備が進む
- ・戦後期：昭和18年鳥取大震災、昭和27年鳥取大火、その復興に土地区画整理事業、連続立体交差事業が実施され、基盤整備は昭和50年代大部が完了

【1期計画の概要】

○鳥取駅・鳥取城跡周辺の二核と若桜・智頭街道の二軸(二核二軸)の都市構造を踏まえ、中心市街地の活性化に取り組んだ。

【中心市街地の変化】

- 民間集合住宅整備により平成19年以降増加していた居住人口は平成23年以降減少に転じている。
- 歩行者・自転車通行量は平成22年以降増加傾向にあるが、空き店舗数は、売上げ低迷、経営者の高齢化、後継者不在により減少していない。
- 今後は、「街なか居住の推進」、「賑わいの創出」を活性化の目標とし、1期計画検証からの重点課題への対応や2期計画の重点施策の展開により、更なる活性化を図る。

【目指す中心市街地像】

○「**住みたい 行きたい ふるさと鳥取** いなばのくに **因幡国の都市核づくり**」

【1期計画の指標・目標値】

指標	現況値	目標値
中心市街地内の居住人口	12,268人 (平成18年度)	12,800人 (平成24年度)
歩行者自転車通行量 (鳥取駅周辺地区・平日)	13,732人/日 (平成18年度)	14,400人/日 (平成24年度)
歩行者自転車通行量 (鳥取城跡周辺地区・平日)	1,715人/日 (平成19年度)	1,800人/日 (平成24年度)
空き店舗数	55店舗 (平成19年度)	46店舗 (平成24年度)
文化施設の入込み客数	150,984人 (平成18年度)	169,000人 (平成24年度)

【2期計画の指標・目標値】

指標	現況値	目標値
中心市街地内の居住人口 (社会増減)	77人/年 (平成18～23年度平均)	社会増減をプラス (平成25～29年度平均)
歩行者自転車通行量 (平日)	13,229人/日 (平成24年)	14,000人/日 (平成29年)
歩行者自転車通行量 (休日)	9,377人/日 (平成24年)	9,900人/日 (平成29年)
新規開業数	17.7店舗 (平成21～24年度平均)	20店舗 (平成25～29年度平均)

■まちなか居住の推進

⇒「街なか居住者支援事業(住宅家賃助成事業、個人住宅取得資金利子補給事業)」、「既存ストック活用支援事業(空き家・空き床活用支援事業等)」、「鳥取赤十字病院整備事業」、「UJIターン促進事業」、他

■賑わい創出を目指す

⇒「市道駅前太平線賑わい空間活用事業」、「駅南賑わい創出空間事業」、「新規創業・開業支援事業」、「100円循環バス(くる梨)運行事業」、他

第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画の事業概要

既存ストックの活用等による街なか居住の促進

①鳥取赤十字病院整備事業

中心市街地における総合的な医療機能を確認することにより、安全・安心な生活環境を提供する。



鳥取赤十字病院整備イメージ

②街なか居住者支援事業

中心市街地の民間賃貸住宅への入居や住宅取得のための支援を行う。

③既存ストック活用支援事業

中心市街地の空き家の利活用や、国の事業を活用した住宅改修を行う場合の追加支援を行う。

④戒町地区防火建築帯共同建替事業

地元の地権者による共同建替えのプロジェクトを支援する。

⑤街なか子育て支援事業

空き店舗等を活用し、子どもたちの遊びの場や託児サービスの提供、各種教室を運営する。

地域資源の活用等による観光交流の促進

⑥鳥取城跡大手登城路復元整備事業

平成17年度に策定した「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画」に基づき、国指定史跡である鳥取城跡の石垣、櫓門等を復元整備する。



大手登城路復元整備イメージ

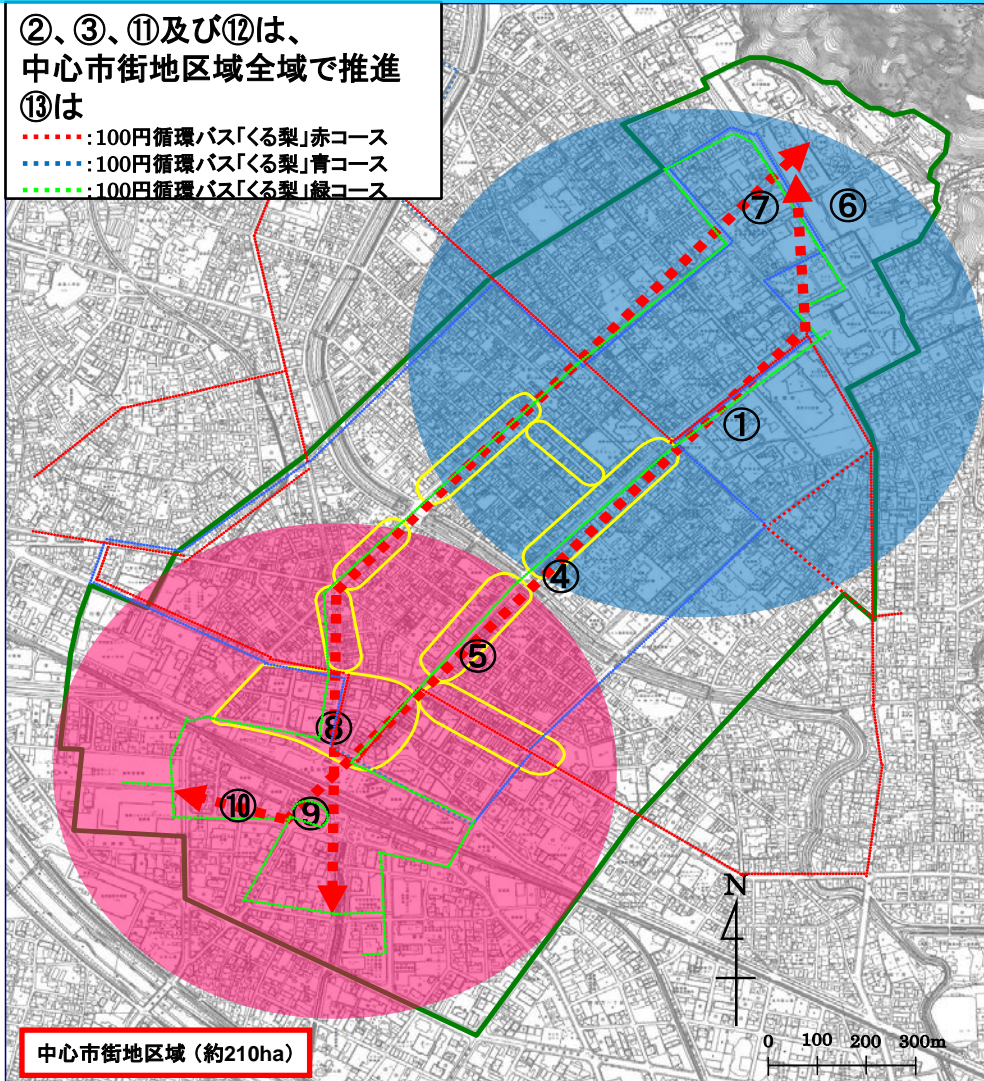
⑦観光用駐車場整備事業

鳥取城跡周辺に不足している大型バス等が駐車可能な観光用駐車場を整備する。

②、③、⑪及び⑫は、中心市街地全域で推進

⑬は

-:100円循環バス「くる梨」赤コース
-:100円循環バス「くる梨」青コース
-:100円循環バス「くる梨」緑コース



中心市街地（約210ha）

● 鳥取城跡周辺地区

歴史・文化等を有する豊かな居住・交流の舞台

● 鳥取駅周辺地区

因幡の都市核として駅を中心に都市機能が集中・集積する舞台

○ 主な商店街

◀▶ 人の主要な動線

鳥取駅周辺の多様な機能の活用・拡充等による賑わいの再生

⑧市道駅前太平線賑わい空間活用事業

道路空間の再配分により整備する全天候型広場を活用したイベント等を定期的に開催する。



太平線賑わい空間整備イメージ

⑨鳥取駅南口交通広場整備事業

タクシーと一般車の輻輳、観光バスの待機場の不備等、交通結節点の機能が不足している鳥取駅南口の交通広場を再整備する。

⑩扇町駐車場（仮称）整備事業

まちの玄関口であるJR鳥取駅周辺エリアにおいて公共駐車場を整備する。

⑪空き店舗対策事業

空き店舗を活用した新規開業に対する支援および、空き店舗情報の提供を行う。

⑫新規創業・開業支援事業

新たな事業者の掘り起こしを図るため、店舗賃借料、店舗改修費、広告宣伝費に対して補助等を行う。

公共交通の拡充等による中心市街地内の交通環境の改善・回遊性向上

⑬ 100円循環バス「くる梨」運行事業

平成25年度から、駅周辺と城跡周辺を結ぶ1路線を増設し、3路線を運行する。



100円バス「くる梨」新規路線バスイメージ